

はじめまして。106 期中学 3 年の○○です。初めての旅行記ですがよろしくお願ひします。

<凡例>

出発駅 出発時刻(遅延時間)▶▶▶到着駅 到着時刻(遅延時間)

乗車路線/種別(有料特急の場合は号数も)/行先/形式

## 1. 切符予約のトラブル

### 1-1. 二度寝

ドタン! (ベッドから落ちた音) おはようございます。日時は 2025 年 8 月 6 日 4 時 30 分だ。今日は友人と静岡に旅行に行きたいと思う。今日使っていく切符は「JR 東海☆夏の乗り放題きっぷ」だ。この切符は EX サービスを使って予約する特殊な切符なのであるが前日に予約するのを忘れてしまっていたので、予約をするために EX のサイトを開いた。すると、

## 5 時 30 分までメンテナンス中

なんてこった。メンテナンスなんてそうそうないのになぜよりによって今日なんだ…。とりあえずメンテナンスが終わるまで何もすることがなくなってしまったので、5 時 25 分までは寝ることにした。おやすみなさい。

### 1-2. 二度目の起床

おはようございます(2 回目)。時刻は 5 時 50 分…うーん寝坊した! とりあえず、まずは切符の予約、それから荷物の確認をして、ダッシュで駅に向かい電車に飛び乗った。新幹線乗車前の名古屋駅散策をあきらめれば、なんとか乗る予定の新幹線に間に合いそうだ。

トップシークレット▶▶▶名古屋 6:27

名古屋市営地下鉄桜通線/ 普通 / 太閤通行き/6000 系

前日から名古屋の宿に宿泊していて、今日もここに泊まる予定だ。名古屋駅についたら、切符を発券して、急いで新幹線に乗り込んだ。今回は豊橋駅まで乗車した。豊橋駅で友人と合流予定だ。



豊橋駅に到着



今回の旅行のお供

名古屋 6:40▶▶▶豊橋 7:02

東海道新幹線/ ひかり 632 号 / 東京行き/N700A(ラージ A)

今回は N700 系の中のラージ A の編成だった。現在の N700 系にはラージ A、スマート A、N700S が存在する。個人的には、気のせいかもしれないが酔いにくい N700S が好みだ。名古屋駅始発のひかり号ということもあって、比較的空いてはいたがそこそこ乗車はあった。

## 2.旅行開始

### 2-1.浜松へ行く

豊橋駅に到着して、無事友人と合流することができた。そのまま二人で静岡県を目指す。

豊橋 7:09▶▶▶浜松 7:44

東海道本線/ 普通 / 静岡行き/313 系 2000 番台

JR 東海の東海道本線は豊橋駅を境に名古屋地区と静岡地区に分かれている。名古屋地区ではほとんどの車両で快適な転換クロスシートが使われているのだが、静岡地区では 2 割ほどしか使われていない。クロスシート車が来ることを祈っていたが、来た列車はロングシート車だった。しかし、そもそも通勤ラッシュ帯というのもあって車内はとても混雑しており、浜松駅までは立つことになった。豊橋駅～浜松駅間では、途中で浜名湖が見える。晴れた日はとてもきれいな景色を見ることができ、私の東海道本線の車窓の中でもおすすめの場所だ。

朝から営業している餃子の店が 1 軒もなく、地元のカフェかすき家くらいしか営業していなかつた。こんな事があるのかと二人で驚きつつ相談をした結果、結局特に浜松に関係のない吉野家に行つた。

### 3.さらに東を目指して

#### 3-1.クロスシートかロングシートか



浜名湖がとてもきれい



結構な混雑

浜松で特にすることがなくなってしまい、友人とさらに先を目指した。一応この旅行には、日本百名城である駿府城、掛川城のスタンプを押すという目的もあるので、とりあえず駿府城の最寄り駅である、静岡駅に向かうことにした。

浜松駅から乗車するのは熱海行きの 6 両編成だ。先ほども話したように、静岡地区ではクロスシートの割合が少ないのだが、6 両編成の場合はクロスシート車を連結している可能性が比較的高く、期待がもてる。

接近放送が鳴り、列車がやってきた。

浜松 9:08▶▶▶静岡 10:21

東海道本線/ 普通 /熱海行き/315 系 3000 番台+313 系 0 番台

やってきた列車は新型車両の 315 系 4 両と 313 系の 2 両の併結編成だ。前 4 両 315 系はロングシートだが、後ろ 2 両 313 系は転換クロスシートだ。心の中で歓喜した。これで静岡駅までは快適に移動することが出来そうだ。315 系には JR 東海が今まで導入していなかった自動放送も備わっていて、連結されている後ろの 313 系にも放送が流れてくるようになっている。個人的には自動放送の中でも英語放送がお気に入りだ。



クロスシート車きたー!!



315系にはLCD液晶が搭載された

### 3-2. 静岡に来たのなら…

静岡駅に到着した。そろそろ小腹が空いてきた。静岡に来たのなら食べなければならないものがある。それは「さわやかのげんこつハンバーグ」だ。さわやかの店舗は静岡県内にしかなく、土日には多いところで 7 時間待ちにもなる人気店だ。ほぼ全店舗が 10 時に整理券配布を始め、10 時 45 分または 11 時から営業を開始する。今回食べる予定の新静岡セノバ店は静岡駅が最寄りの店舗で、いつも混雑している。静岡駅から徒歩で 10 分ほど歩き新静岡セノバの 5 階にある店舗へ向かった。営業時間前に整理券を発行したにもかかわらず、80 分待ち、31 番目だった。

### 3-3. 駿府城へ

さわやかの整理券を取りしばらく時間が出来たので、待ち時間に駿府城を散策することにした。私は駿府城がどこにあるのか今までよく知らず、友人につられて歩いて行ったら、なんと隣にあった。駿府城は江戸時代の火事で燃えてしまったらしく、現在は東御門の周りが復元されていて、資料館となっている。とりあえず日本百名城のスタンプを押して、資料館の入場券を買い、友人と資料館に入った。小中学生は入場料が 50 円ととても安かった。そして資料館に入ったのだが、

## 暑い! あつすぎる!

そもそもそのはず、資料館内は冷房がなく、風通しは良かったが、今日の静岡市の最高気温は、

41.4°C

外からも熱風しか流れてこないのである。その資料館ももっと見たかったのだが、体が茹で上がってしまう気がしたので 20 分ほどで撤収した。もっと暑さ対策をするべきだったとすこし後悔した。余談だが、城や神社仏閣などは高校生から大人料金のところが多い。城を巡るのなら、小中学生のうちがおすすめだ。

### 3-4.ついにさわやかへ

なんやかんやでさわやかの待ち時間にちょうど良くなつたので、さわやかの店舗に戻つた。店舗についてたらちょうどのタイミングだったらしく、すぐに案内してもらつことが出来た。さわやかハンバーグで頼むものは、名物の「げんこつハンバーグ」だ。ハンバーグとソースの相性が抜群で私の大好物の一つだ。注文をして、友人とハンバーグが来るのを待ち望む。



さわやかにきたぞー！



めちゃくちゃうまそ～～！

ハンバーグはとてもおいしかつた。本当にこれを食べに来るためだけに静岡に来てもいいと思えるくらい美味しかつた。今後さわやかを訪れる方にはぜひとも試していただきたい。そしてこれから静岡に訪れることがあれば、ぜひともさわやかを食べていただきたい。

### 3-5.デザート(?)

私は静岡のもう一つの名物の「静岡おでん」も食べたいと思っていた。静岡おでんは他のおでんとは違い、出汁が黒いのが特徴である。さわやかを食べた後静岡駅に戻り、駅ナカでおでんをテイクアウトした。買ってから、こんな気温の日に何を買つてゐるのだろうと一瞬頭をよぎつたが、気にしない気にしない…。

## 4.もう一つの城、掛川城へ

### 4-1.さらば静岡

静岡でやることが終ったので、第二の百名城「掛川城」を目指した。最寄り駅は掛川駅なので、そこまで東海道本線で向かった。

静岡 13:50▶▶▶掛川 14:35

東海道本線/ 普通 /浜松行き/315系 3000番台+313系 0番台

またクロスシート車を引き当てた。今回の旅行は、ツイているのかもしれない。4人掛けの席を2人で座ることが出来たので、さきほどテイクアウトしたおでんを食べた。おでんは、どれもおいしくてすぐに食べ終わってしまった。なんだかんだ食べている間に、掛川駅に到着した。



静岡おでんといえば黒はんぺん

自分は餅巾着が好き



掛川駅の木造駅舎

1940年からずっとこの姿らしい

掛川駅に到着し、冷房の効いた車内から、気温 40°C 近い外へ放り出される。駅から城までは徒歩で 10 分ほどだ。自分たちは少しでも涼しいところを求め、城への道を少し早歩きで進んでいった。

### 4-2.掛川城見学

掛川城についたらまずは天守を見学しに行く。掛川城は駿府城と違い、天守などの建物がしっかり木造で復元されている。天守閣と御殿の入館券のセットを買い、天守へ行った。小人 1 人 150 円だった。安い。天守閣からは、掛川の街を一望できた。快晴だったこともあり、とてもいい景色だった。ただ、扇風機などではなく、風通しはよかつたものの熱風なので、激しく暑かった。その後御殿の資料館に行ったのだが、そこにあった冷たい風の出る送風機に 30 分ほど張り付いていた。



掛川城



とても景色がよかった

## 5.名古屋に帰ろう。

### 5-1.最後の運試しと、掛川茶

掛川城を見学して、スタンプを押すことが出来たので駅に戻る。これから乗るのは掛川駅始発の豊橋行きの 4 両編成だ。ほとんどの列車で系統分離が行われている浜松駅を貫通する珍しい運用だ。しかし 4 両編成の車両は、ロングシート車である可能性がとても高い。友人も自分もあまり期待してはいなかった。接近放送が鳴り、列車がやってくると、

### 転換クロスシート車ではないか!!!

何と運が良いのだろう。ここまで 4 回のうち、3 回もクロスシート車にありつくことが出来ている(そもそもロングシート車の 1 回は席に座ることもできなかっただし…). 豊橋駅まで快適な旅になりそうだ。車内に乗り込み、クロスシートに座れたことに喜んでいるうちに、発車ベルが鳴り、列車は動き出した。

掛川 16:32▶▶▶豊橋 17:34

東海道本線/ 普通 / 豊橋行き/313 系 0 番台

### 5-2.最後のトラブル

掛川駅から豊橋駅到着手前まで思いっきり寝てしまっていたが、豊橋駅到着直前に車掌からこのような放送が流れた。

「ただいま、清洲駅での信号安全確認を受けまして、東海道本線の豊橋駅～岐阜駅間に遅れが生じております。名鉄へ振替輸送を行っております。」

振替輸送が始まるなんて、どれだけ遅れているのかと、駅に着いてすぐに電光掲示板を見たところ、定刻通り何事もないかのように運行していた。本当に振替輸送をやっているのかと駅員さんに尋ねたところ、やっているとのことだ。折角なので、最後は名鉄に乗っていくことにした。



JR と私鉄が共有するめずらしい改札



なんとか自我を残している

名鉄豊橋駅の駅名標

### 5-3.最終走者

名鉄に乗るために一度改札を降りて、同じ改札を入った。豊橋駅は、名鉄がJRの3番線を間借りしている不思議な構造になっており、改札も同じなのだ。ホームに降りると人がとても多く、需要の大きさに驚きながら列車に乗り込んだ。今回乗車したのは、通称「パノラマスーパー」と呼ばれる特別車の先頭から全面展望が見渡せる車両なのだが、豊橋から乗車すると座席が進行方向と逆になってしまうため今回はやめることにした。名古屋駅～豊橋駅間は、JRと名鉄の競合区間であり、利用者もJR派と名鉄派に分かれている。自分は多くの種類の車両が走っている名鉄の方が好みである。18時02分、名古屋駅への最終走者は、豊橋駅を発車した。

豊橋 18:02▶▶▶名鉄名古屋 18:51

名鉄名古屋本線/ 快速特急 /新鵜沼行き/1200系

あっという間に名古屋市に入り、友人とは金山駅で別れ、私は名鉄名古屋駅で下車した。名鉄名古屋駅は3面2線、上下1本ずつの線路で名鉄のほぼ全系統をさばき、どの時間でも2分に1本列車が入ってくるカオスな駅である。聞いた話によると、2030年ごろに2面4線に改造されるとのことだ。これでカオス加減が緩和されると期待できる。

さて、無事名古屋に着いたということで自分は宿に帰って休みたいと思う。おやすみなさい…。

名古屋 19:02▶▶▶トップシークレット

名古屋市営地下鉄桜通線/ 普通 /徳重行き/6000系

## 6.二日目 2025/08/07(木)

### 6-1. そうだ!下呂温泉に行こう!!

おはようございます。今日は2日用の切符である「JR 東海☆夏の乗り放題きっぷ」の残り一日分を使っていると思う。まだ旅行先は決まっていないが、6時に名古屋駅で友人と集合なので6時までに名古屋につくように向かっていった。

トップシークレットやで▶▶▶名古屋 5:40

名古屋市営地下鉄桜通線/ 普通 /太閤行き/6000系

電車に乗っている途中で、唐突に温泉に入りたいという欲がわいてきた。ということで今日は日本三名泉の一つにも数えられている下呂温泉に行きたいと思う。友人とLINEで

私「そうだ、今日、げろいこう!」

友人「??????」

私「温泉はいろーよ」

友人「ああ下呂温泉か、ええで」

という会話をして、下呂温泉に行くことが決まった。下呂温泉の最寄り駅は下呂駅で、高山本線の駅だ。高山本線は岐阜駅が起点なので、まず岐阜駅に向かった。名古屋駅のきしめんが食べたかったが、まだ営業していなかった。ちなみに2番線と3・4番線の店の天ぷらは揚げたてなので、行くならそこがおすすめだ。

### 6-2.旅行開始

名古屋 6:23▶▶▶岐阜 6:50

東海道本線/ 普通 /大垣行き/315系 3000番台

友人と合流してしばらくしたら列車が来た。東海道本線名古屋地区はほとんどが313系の転換クロスシートなのだが、運がいいのか運が悪いのか、今回は最近運用に入ったばかりの315系がやってきた。ロングシートではあったが、20分くらいなので問題はない。岐阜駅につくと1分接続の高山線が待っていたのだが、

**めっちゃ混んでる!**

7時にもなっていないのにほぼ寿司詰め状態なのである。せっかくクロスシート車が来たのに立ち席かと落胆した。単線非電化路線で普通列車が毎時2本のローカル線だとは思えない混雑だった。

岐阜 6:51▶▶▶下呂 8:52

高山本線/ 普通 /高山行き/キハ 25 形 0 番台

乗客にはサラリーマンも多かったが、登山客も結構いて、下呂駅まで立ちを覚悟していたのだが、途中の美濃太田駅でほぼすべての人が下りていき、車内はほぼ貸し切りとなった。高山本線は特急ひだが毎時 1~2 本の高頻度で運転されていて、日中の普通列車はとても待避が多く時間がかかる。しかしこの時間帯はまだ特急が動いていないため比較的スムーズに向かうことができた。最後の停車駅である焼石駅で 4 分ほど停車時間があり、その時に駅名標に水をかけて「焼け石に水」を物理的に再現したかった。しかしあいにく水を持ち合わせていなくて水をかけることはできなかった。

高山本線は美濃太田駅からは飛騨川に沿って線路が走っているため、とても車窓がいいのでそれもおすすめである。そして、下呂駅に到着した。



焼け石に雨…



313 系とほぼ変わらない見た目

### 6-3.朝食

最初に下呂駅の観光案内所で下呂温泉の湯めぐり手形を買った。これは 1500 円で下呂温泉の手形加盟店や温泉施設 15 か所の中から 3 か所に日帰り入浴することができる優れものだ。日帰り入浴 1 回で 1200 円する旅館もあるため、とてもお得なものである。まだ朝食を食べていなかったので、観光案内所の方に「朝ご飯を食べられる定食屋さんみたいなのはありますか?」と聞いたところ、「それはないですね~」と言われた。詳しく聞くと、下呂は基本宿の朝ご飯などを食べる人が多く、カフェはあるが朝から営業しているご飯屋さんは少ないとのこと。ということで教えてもらったカフェにいき、アイスココアとモーニングを食べた。自分はモーニングの厚切り食パンが好きでとてもおいしかった。



朝食



湯めぐり手形

モーニングは東海地方の文化らしい…

#### 6-4. 天気の不運

朝食を食べている最中、流れていたテレビからこんな天気予報が流れてきた。

「今日の飛騨地方の天気です。今日は、雨でしょう…」

え…うそだろ…!? 慌ててスマホの天気アプリを確認すると今日の21時までびっしり雨予報である。運よく常備していた折り畳み傘はあったのだが、あまり雨の下を歩きたくはない。友人と相談した結果、とりあえず外に出て何をするか考えることになった。会計を終え、外に出ても雨は降っていなかった。

#### 6-5. 温泉巡り①

最初に下呂温泉噴泉地に行った。ここは飛騨川の川辺にある野外温泉で 2021 年まで水着で無料で入浴をすることができた人気スポットだったのだが、ルールでトラブルになり、足湯専用となつたそうだ。たくさん人がいるかもしれないと覚悟していたのだが、何と貸し切り状態だった。足をつけて入ってはみたのだが、夏だからなのか激しく熱い。体感 44~45°C ほどあったのではないかと思う。30 分ほど二人で浸かっていたら、ほかの観光客が来たので、私たちは違う温泉に向かうことにした。

次にこの日唯一午前中に手形で入浴をすることができる、「白鷺乃湯」に行った。地元の銭湯のようなレトロな雰囲気があり、私の好みに合った場所だった。



完全に屋外にさらされている。



入浴とニューヨークをかけた高等ギャグ

## 6-6.ひるごはん

お風呂を上がり、さっぱりしたところで昼ご飯に飛騨名物の「けいちゃん」を食べに行くことにした。お店に着き、早速けいちゃん定食を注文した。この店では自分で焼くスタイルのようで、女将さんに焼き方を教えてもらいながら二人で楽しく作った。出来上がったけいちゃんはタレとごはんの相性が抜群で、おいしすぎてご飯が一瞬でなくなってしまった。次に下呂に来た時も必ず食べようと決心した。ごちそうさまでした。



めちゃくちゃおいしかった

## 6-7.温泉巡り②

時刻は 12 時半頃になった。残りの手形を使って温泉巡りを進めていこう。次に行くのは、「水明館」だ。下呂では有名な温泉旅館らしい。手形を見せて、大浴場に入った。内湯が一つと大きな露天風呂があり、温度もちょうどよくて二人ですっかりくつろいでいた。そして、自分は大事なことを思い出した。

## 以下浴場内の会話

私「は～…めっちゃ気持ち良い～」  
友人「せやなあ～」  
私「あ、まって今何時？」  
友人「? 13時45分」  
私「ああやべ、13時59分発の帰りの列車間に合わんなんあ」  
友人「もともと間に合わせる気のない行動しかしてない」  
私「たしかに」  
友人「まあ次の乗れば良いでしょ、14時台のやつ」  
私「次の列車確か16時過ぎ…」  
友人「ゑ」

そう、高山本線は日中の時間帯はほとんど特急ひだのみしか運転されておらず、普通列車は2～3時間に1本という驚異的な少なさなのである。もちろん私たちは特急など乗ることができない。つまり16時までは下呂にいることが確定したのである。

### 6-8.温泉巡り③

お風呂を上がったので次の温泉に行こうと思ったのだが、先ほどの温泉で体の芯まで温まってしまい、これ以上連続で入ると体がゆだってしまうということで、少し川で水遊びをすることにした。朝の時点では雲しかない曇天だったが、このころになると雲一つない快晴になっていた。1時間ほど川で水を浴び、涼を取ったところで、最後の温泉旅館「山形屋」に向かった。ここは昼の日帰り入浴の受け入れを18時まで行っていた、唯一の旅館である。15時頃から30分ほど、お湯に浸かっていた。ちなみに下呂温泉はアルカリ性単純泉でpH9以上ある、いわゆる「美人の湯」だ。お風呂に浸かると肌が少しづるぬるするのを感じることができる。確かに今日の朝来た時より、肌がつるつるになったかもしれない…?



川から撮った鉄道写真。  
2両編成がなんともかわいい



川から撮った写真。  
太陽で水が輝いている。

## 6-9. 帰り道

さて、時間もちょうどいいということで、コンビニで物資を買って、下呂駅から列車に乗り込んだ。

下呂 16:02▶▶▶美濃太田 17:28

高山本線/ 普通 /美濃太田行き/キハ 25 形/1000 番台

お風呂に入った後はアイスが食べたくなるということで、先ほどコンビニで買ってきていたバニラアイスを食べた。冷たいアイスが火照った体に染み渡っていく。アイスを食べ終わったら、車内の冷房で心地よくなつて眠ってしまった。

起きた時にはもう美濃太田駅に到着する直前だった。友人を起こして、さらに乗り換えて岐阜駅に向かっていった。

美濃太田 17:35▶▶▶岐阜 18:07

高山本線/ 普通 /岐阜行き/キハ 75 形/3000 番台

高山本線には比較的難読駅名が多い気がする。「坂祝駅」や「各務ヶ原駅」などである。前者は「さかほぎ駅」、後者は「かがみがはら駅」と読む。なんなら各務ヶ原(かがみがはら)駅に関しては、所属している市町村は各務原市と書いて「かかみがはら市」と読み、さらに地元の人は「かがみはら」と呼ぶというとても複雑な場所だ。

岐阜 18:13▶▶▶名古屋 18:41

東海道本線/ 普通 /岡崎行き/313 系 0 番台

岐阜駅に到着したので、東海道本線に乗り換える。帰宅ラッシュの時間帯ということもあってそこそこ混雑していた。名古屋駅で友人と別れた。もうこの旅行も終わりが近いのかと改めて考えて、少しさびしくなる。最後の列車に乗り換えて、宿泊地に帰り、この旅は終了だ。

名古屋 19:01▶▶▶トップシーカレットやで

名古屋市営地下鉄桜通線/ 普通 /徳重行き/6000 系

## 7. おわりに

いかがだったでしょうか。静岡や下呂は普段素通りすることが多かったり、なかなか行くことができない場所だったりするので、旅行で行くことができてとても楽しかったです。この旅行記で「旅行にいきたいなあ」と思っていただけたらうれしいです(笑)。

最後に、この旅行記を読んでくださいって、

**ありがとうございました!**